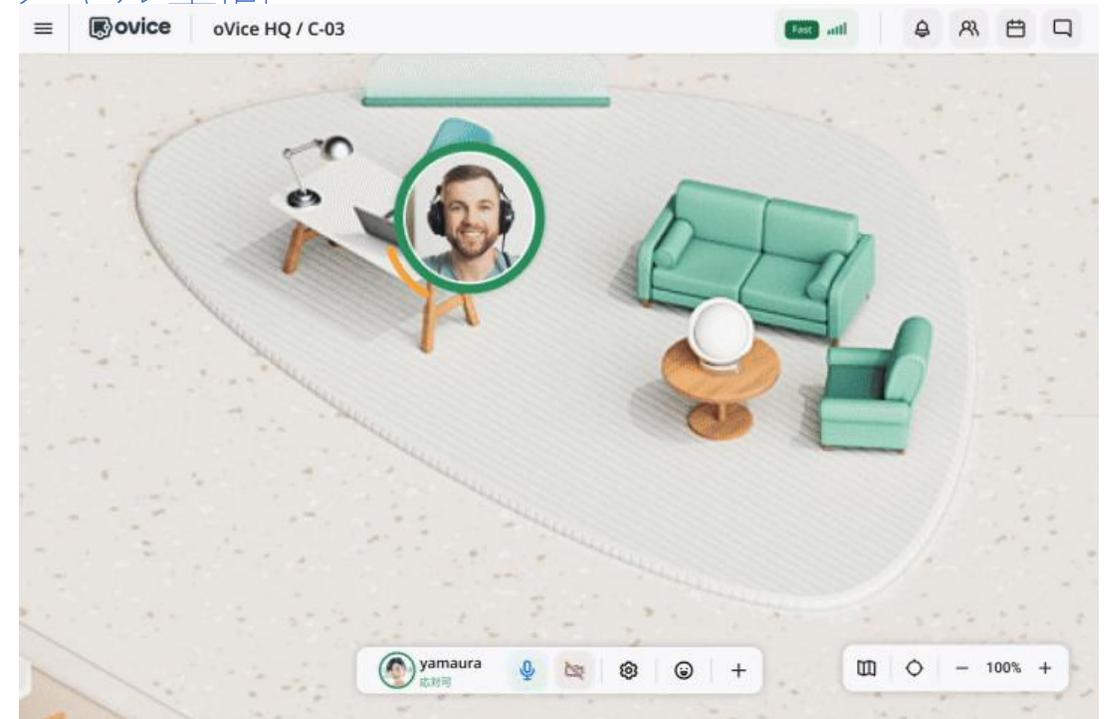
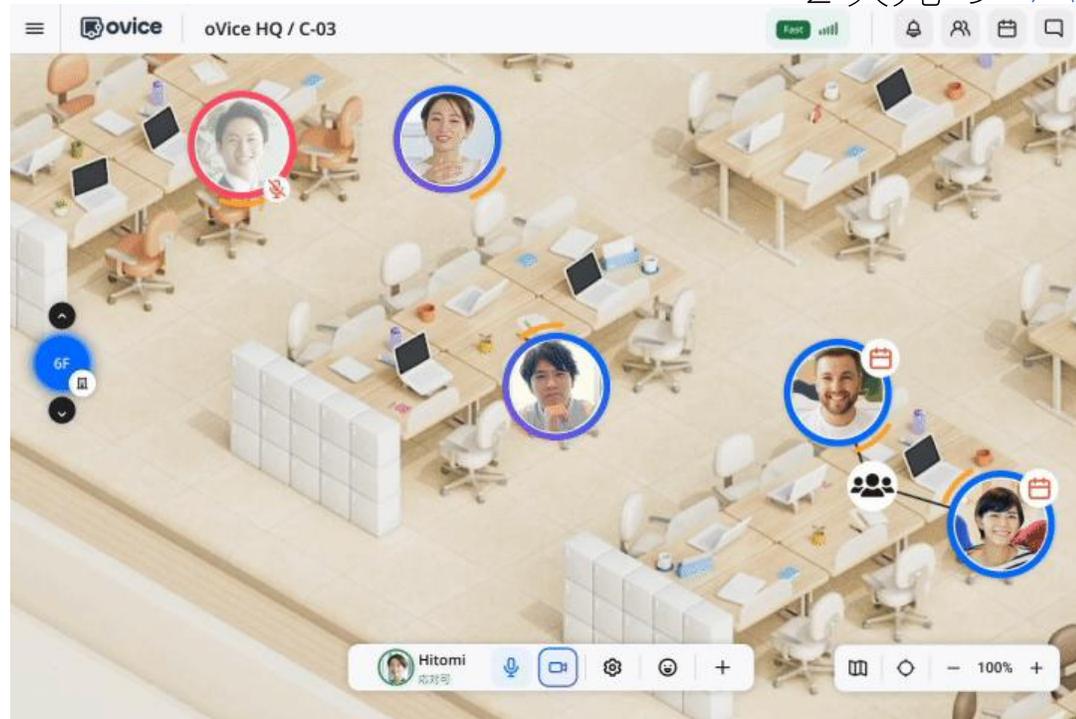


# バーチャルオフィス「ovice(オヴィス)」とは

現実のようなコミュニケーションができる  
2次元の“バーチャル空間”



- 声かけ：アバターを近付けると声が聞こえる。離れると聞こえなくなる。
- 可視化：誰と誰が話しているのか。誰がひとりなのか。各社員の現状が見える。

# 利用登録者数実績 国内NO.1

利用  
企業数

4,000 社

有償登録  
ユーザー数

180,000 人以上



# 【技術部会】 仮想企業ペルソナ

## 仮想企業プロフィール



- ①会社名：株式会社テックテル（Tech Tel Ltd.）
- ②業種：製造業
- ③従業員数：80名
- ④主な業務内容：国内外向け工業製品の部品を設計、製造、販売
- ⑤拠点：現在は国内拠点は5か所（本社、工場、営業拠点3）
- ⑥テレワーク関連の状況
  - ・コロナ禍を機にとりあえず最低限のテレワーク環境は導入
  - ・業務拡大に伴い国内拠点はもちろん海外拠点も計画
  - ・設計、お問い合わせ対応はほぼテレワークを導入  
一方、製造部門、管理部門へのテレワーク導入はほとんどできていない
  - ・従業員数は今後3年間で300名とする予定。うち50名は海外現地採用予定

## 経営者／管理者の課題／悩み



- ①業務拡大に向けたテレワーク環境の再整備
- ②新規ツール、環境導入コストは極力抑制
- ③人員拡大、拠点拡大に伴う労務管理方法の整備
- ④未導入部門へのテレワーク導入推進
- ⑤ネットワーク環境が脆弱で生産性低下懸念あり
- ⑥セキュリティも最低限の対応のみ。網羅的にセキュリティが担保できているか不安（情報漏洩リスク、アクセス権の適正な設定、教育など）
- ⑦今後コミュニケーションパスも増えてくるので、これまでのような密度の高いコミュニケーションは困難
- ⑧担当者の業務状況の把握が困難。結果的に業務評価が困難

## 担当者の課題／悩み



- ①一部担当は業務的にテレワーク不可のため不公平感
- ②逆にテレワークが促進されている担当は、気軽な相談ができないため孤独感増大
- ③負荷の高いオンライン会議では、映像、音声の遅延が発生しストレス
- ④テレワーク環境、ツール設定、不具合時等わからないときの問い合わせ困難（時間的、ノウハウ的に）
- ⑤個人PC、スマホを業務利用しているためセキュリティ面で不安
- ⑥業務拡大に伴い問合せ量が増えてきており、自社担当者のみでの対応が困難（海外からの問い合わせもあり）

# ゴールと課題整理

ゴール

3年後に300名への体制拡大(うち50名海外現地採用)

経営者の課題

⑦今後コミュニケーションパスも増えてくるので、  
これまでのような密度の高いコミュニケーションは困難

経営者の課題

⑧担当者の業務状況の把握が困難。  
結果的に業務評価が困難

担当者の課題

②逆にテレワークが促進されている担当は、  
気軽な相談ができないため孤独感増大

国内だけでも現状5拠点。  
リモート、海外も含めると  
最低7拠点を跨いで仕事をする必要があり、  
相手が見えない状態で密に業務連携をすることは難しく、孤独感を感じやすい

# ゴールと課題整理

ゴール

3年後に300名への体制拡大(うち50名海外現地採用)

経営者の課題

⑦今後コミュニケーションパスも増えてくるので、  
これまでのような密度の高いコミュニケーションは困難

経営者の課題

⑧担当者の業務状況の把握が困難。  
結果的に業務評価が困難

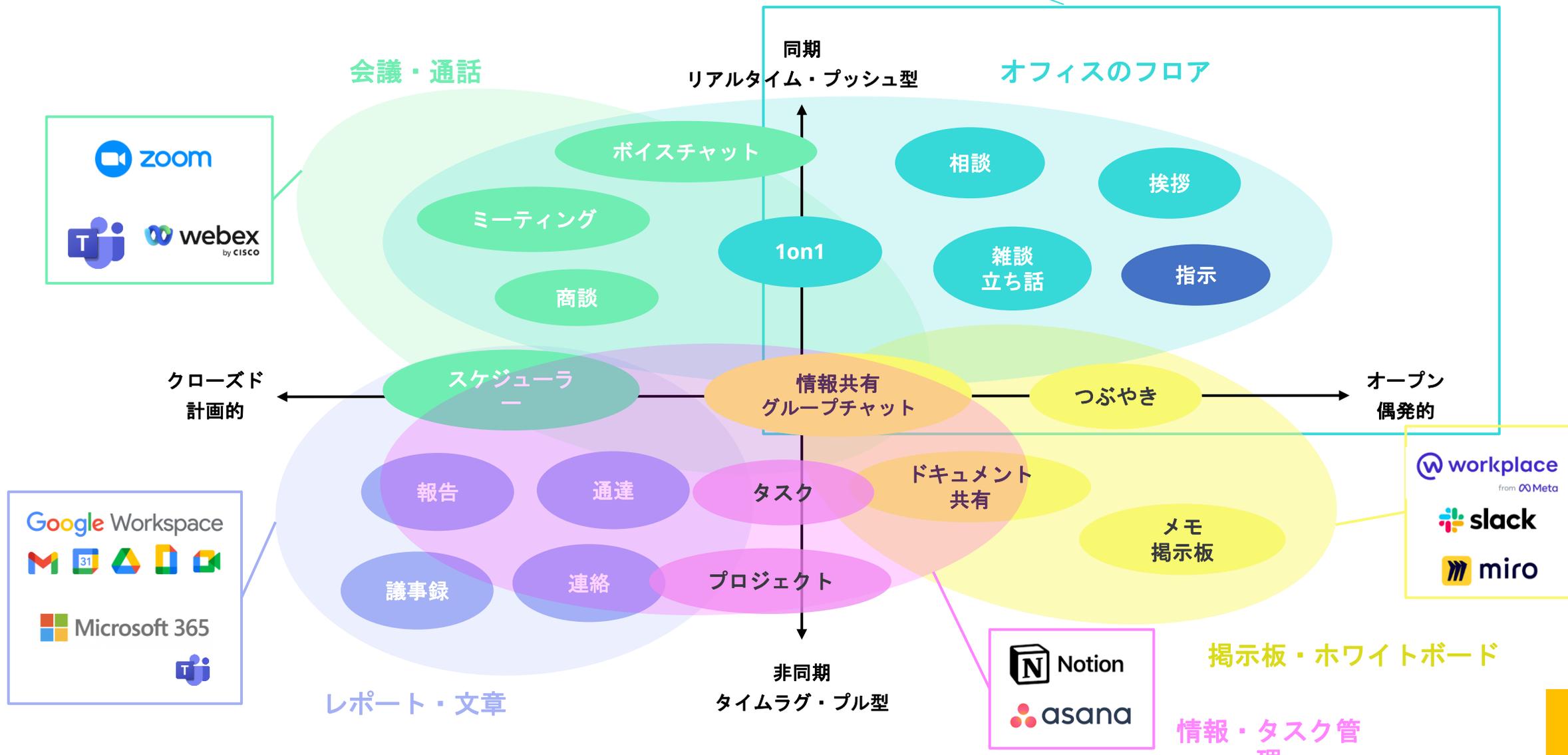
担当者の課題

②逆にテレワークが促進されている担当は、  
気軽な相談ができないため孤独感増大

相手が見えない

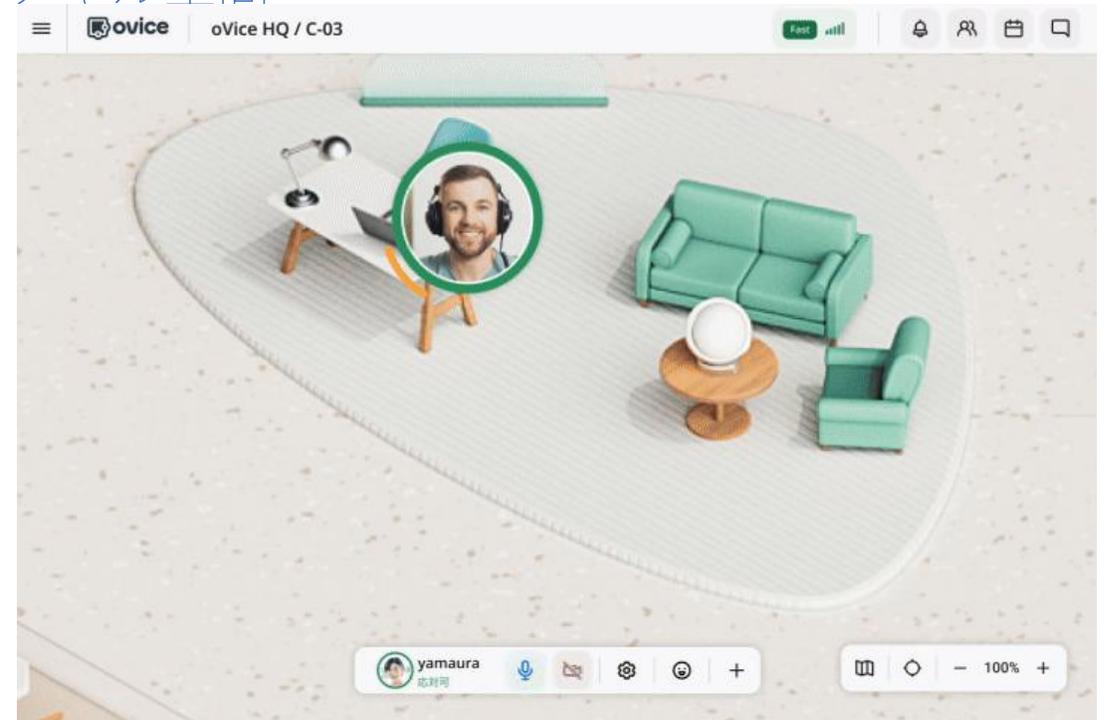
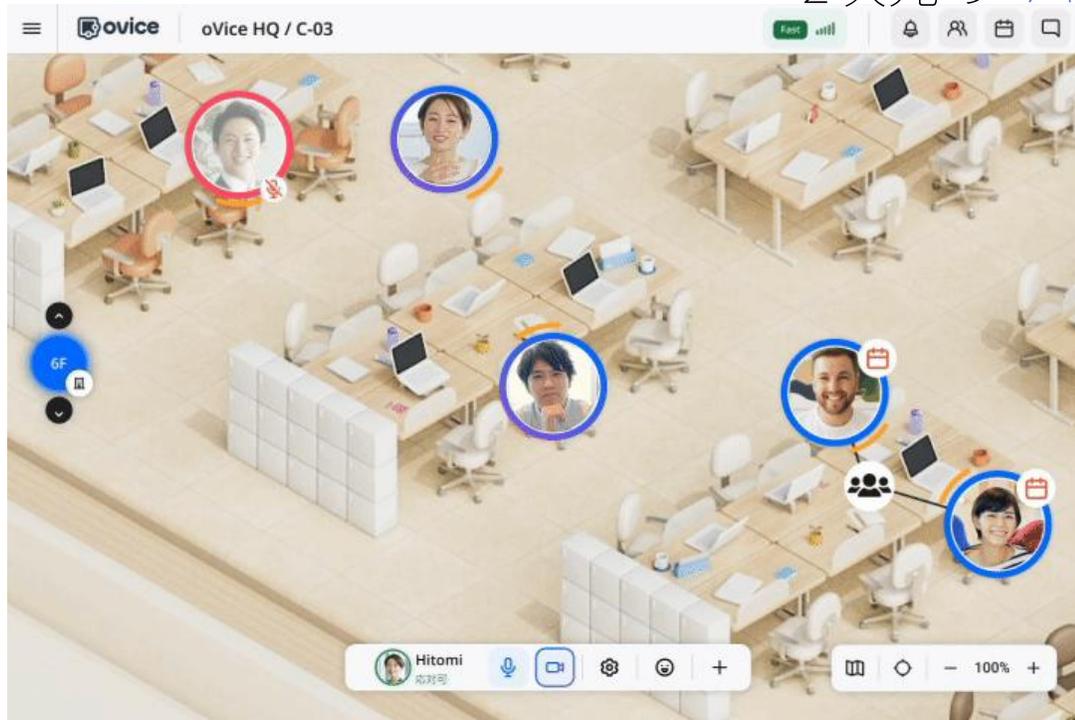
# チャットやWeb会議ツールだけでは同期×偶発会話が失われやすい

「気になったら“ちょっといいですか”と聞けばいい」と言われても、「わざわざ聞きづらい」のが本音



# バーチャルオフィス「ovice(オヴィス)」とは

現実のようなコミュニケーションができる  
2次元の“バーチャル空間”



- 声かけ：アバターを近付けると声が聞こえる。離れると聞こえなくなる。
- 可視化：誰と誰が話しているのか。誰がひとりなのか。各社員の現状が見える。

# ご提案骨子

